

緑のセンターだより

No.299 令和6年2月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

メギ

メギ科 メギ属

Berberis thunbergii DC.

メギを含むメギ属の自生地は南アメリカや東アジアに多く、それに続いて北アメリカ、ヨーロッパ、北アフリカなど地球上に幅広く存在していて、世界全体で500～600種もあります。

日本に自生しているメギ属は、メギ、オオバメギ、ヘビノボラス、ヒロハヘビノボラスの4種で、そのうち北海道にはヘビノボラスより一回り大きくなるヒロハヘビノボラスのみ自生しています。

一方、メギは北海道の自然林には生えていませんが、本州では見られ成木でも高さ2mほどで、樹形は株立ち状になります。5～6月に直径5～6mmの黄色で小さな花を葉腋から2～3個下向きに咲かせ、10月頃になると1cmに満たない楕円形の小さな実が熟し赤くなります。

このメギをよく見かけるのは街中の公園です。株状になる成木は

ほとんどなく、萌芽力が強く刈り込んでも形をつくりやすいため、多くは生垣や花壇の縁取りとして利用されています。メギの葉は緑葉、赤葉、黄葉など多様ですが、公園で見かけるものは赤葉系が多いようです。

メギには「コトリトマラズ」という別名があります。同属にヘビノボラスやヒロハヘビノボラスがあるように、これらの名前の由来はメギ属の樹枝に鋭い棘が多くあるため、動物がこの木に止まったり、登ったりするのが難しいことからきているようです。また、メギの漢字名は「目木」で、かつては樹皮などを煎じて洗眼薬として用いられたので、この名がつけられたようです。

オジギソウは指で葉に触れるとゆっくり閉じていきますが、メギも開花時に雄しべに触れると、それが雌しべのある中心方向に動く様子を観察することができます。メギの黄色い花が咲くころ、一度試してみてくださいはいかがでしょう。



花壇の縁取りとして利用



赤葉系のメギ



樹枝に鋭い棘がある



メギの開花の様子

2月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、至平日が休み）
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木	整枝剪定			落葉広葉樹は強剪定も可。モミジ・カエデ類、常緑樹は剪定しない。
		雪害からの保護			樹冠や枝に着雪している雪は落とす。雪に埋まっている枝葉を雪の上に出す。
	花木		剪定		サクラ、コブシ、モクレン、ハナカイドウなど、必要な花芽を残して剪定する。過度の剪定は避ける。※3月下旬までに
室内園芸	球根	保存状態の点検			ダリア（湿潤、5～8℃）、カンナ（湿潤、8～10℃）、グラジオラス・アマリリス・カラー（乾燥、3～5℃）、球根ベゴニア（乾燥さみ、パーミキュライトなどを軽く湿らせたもの、3～5℃）
	野菜	保存野菜の確認			保管状態、鮮度、発芽状態など確認し、なるべく早めに食べきる。
	鉢花・観葉植物	水やり・施肥			土の表面が乾いたら、室温程度の水を与える。開花が続く草花の鉢は、液肥も与える。受皿の水は捨てる。
		温度管理			開花中の鉢花は15～20℃。昼夜の温度差がある方が望ましい。温風を避ける。
		湿度			暖房のある部屋では加湿器、霧吹き、水を入れた容器や濡れタオルなどを近くに置く。
		病害虫防除			枝葉や鉢周りのベタつきはカイガラムシやアブラムシ等の虫害サイン。捕殺し、水洗い。
		花後の管理			ツバキやアザレアなどの花後は低温下に置き、休眠状態にして新芽の成長を抑える。
	洋ラン	温度管理			生育温度、高温性（コチョウラン、デンファレなど）は18～25℃、低温性（シンビジウムなど）は10～20℃。なお、カトレアは最低12～13℃以上を保つ。
		水やり・施肥			生育温度が保てる場合は乾いたら与える。保てない場合は極力控える。開花中、蕾の出ているものには多めに灌水し、肥料は与えない。
	植多肉	水やり			冬型種（リトープス、コノフィツムなど）は表土が乾いたらたっぷり灌水。夏型種、春秋型種（アロエ、エケベリア、クラッスラなど）は極力控える。
	全般	置き場所			休眠しているもの以外は、窓辺などできるだけ日当たりの良い場所に置く。



Q 市販の培養土や専用土を使用せずに自分で鉢物の培養土を作りたいと思います。鉢物用土の種類と特性を教えてください。

A よく使われる用土に赤玉土、腐葉土、鹿沼土があります。

植物によって主体となる用土が違いますので、それぞれの用土の特性を理解して、植込む植物の種類や、ご自分の栽培方法に合った培養土を作りましょう。

赤玉土：火山灰を主成分とした粒状の土で、通気性、保水性、排水性、保肥力に優れた園芸用土です。培養土の主体となる用土で、大粒、中粒、小粒があり、粒が大きいほど排水が良くなります。赤玉土の割合が増えるほど透水性が良くなりますが、1年も過ぎると粒の強度が低下し、砕けやすくなり透水性も低下します。7号鉢以上には中粒を使用するのがよいでしょう。

腐葉土：広葉樹の落葉を腐熟させた有機物で、保水性、排水性、保肥力に富み、土壌微生物の増殖を助け、ふかふかの柔らかい土を作ります。

鹿沼土：多孔質の軽い粒状の土です。保水性、通気性に優れていますが、赤玉土より保肥力が劣ります。酸性でツツジ類の培養土の主体となる用土です。赤玉土より崩れにくいですが。

火山レキ・軽石：多孔質で粒状の火山性小石（レキ）です。鹿沼土より硬く、排水性を高めたい場合はこれらを混和するとよいでしょう。大粒のものは鉢底土として利用できます。

ビートモス：泥炭を乾燥、精製した有機物です。腐葉土と同様に使用することができますが、強酸性ですので、酸度調整をして使用するか酸性を好む植物に使用します。腐葉土より保水性が良いので入れすぎると根腐れを起こします。乾燥しすぎると水をはじく性質があります。

その他：軽量で通気性、排水性に富んだパーミキュライト、パーライトなどがあります。ハンギングバスケットなどに使用すると良いですが通常の鉢土には1割程度の混和が一般的です。



豊平公園 展示会

アザレア展
2/6 (火) ~2/18 (日)



‘ローズネット’



モチツツジ ‘花火’

ボタニカルアート展
3/19 (火) ~3/31 (日)



色鮮やか「アザレア展」



豊平公園緑のセンターでは2月6日から「アザレア展」を開催します。鉢全体の花色の割合が紅色～桃色で変化する‘カメレオン’や八重咲の‘ローズネット’、30年以上の大株のヒラドツツジ‘紫宸殿’など、緑のセンターで育てたアザレア、ツツジ類を展示します。アザレアの鉢の販売も行います。

ぜひ「アザレア展」へお越しください。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

立春の候



ミモザ

寒さが厳しく最も雪の多い季節ではありますが、暦の上では春が始まる「立春」を迎えます。

百合が原緑のセンターでは、豪華に咲くランや可憐な福寿草と雪割草、色や形が多彩なアザレアやツバキといった、心華やぐ展示会が毎週開催されます！また、大温室のシンボルツリーミモザは鮮やかな黄色い花を徐々に開花させ、一足早い春の訪れをお楽しみいただけます。



百合が原公園

〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分

百合が原公園 展示会

市民ラン展
～市民参加のランの展示～
1/30 (火) ~2/4 (日)
※最終日は15:00まで



福寿草と雪割草展
～春を告げる雪国の妖精たち～
2/6 (火) ~2/18 (日)



雪割草



福寿草



アザレア

アザレア展
～道内最大級のコレクション～
2/14 (水) ~3/3 (日)

ツバキ展
～古典園芸 道内最大級のコレクション～
2/20 (火) ~3/17 (日)

ヤブツバキ系
‘タマグリッターズ’



イベント情報（2月～3月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹類の剪定と病害虫予防	2月23日（金祝）	13:30～	300円	40名	2/11（日）～
シンビジウムの育て方のコツ	2月24日（土）	13:30～	300円	40名	2/11（日）～
花の種まき実践講座	2月25日（日）	13:30～	1200円	6名	2/11（日）～
洋ランの春の管理と植え替え	3月2日（土）	13:30～	300円	40名	2/11（日）～
有機栽培の土づくり	3月9日（土）	13:30～	300円	40名	2/11（日）～
【コチョウラン植え替え講習会】	3月3日（日）	9:00～16:00 完全時間予約制	材料費実費	24名	2/11（日）～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
洋ランの育て方	2月4日（日）	13:00～14:30	300円	20名	申込受付中
ツバキの育て方	2月24日（土）	13:30～14:30	500円	20名	2/11（日）～
洋ランの育て方	3月16日（土）	13:00～14:30	300円	20名	2/11（日）～

豊平
公園

コチョウラン

植え替え講習会

3/3（日）9:00～16:00（完全予約制）

①完全予約制

- ・実施日の9:00～16:00の間で、一人あたり30分の枠を設けています。

ご予約の際は、ご希望の時間をお伝えください。

②植え替えは一人一鉢まで

- ・ご自宅にあるコチョウランを一鉢、化粧鉢を外してご持参ください。

葉を外気に当てないよう、新聞紙などで包んでお持ちください。

③その他の持ち物

- ・園芸用のゴム手袋やエプロン。または、汚れても良い服装でお越しください。

④材料費実費

- ・参加費は無料ですが、植え替えに必要な材料費が別途必要です。
- ・新しい鉢や水苔は、お客様のコチョウランのサイズによって大きさや量が異なるため売店で適切な物をご購入いただきます。（新品の水苔はお持ちいただいても結構です）
- ・およそ1,300円程度を目安にお考えください。

